

たが、アメリカのかかる一方的な砂糖買付價格強要はキューバ經濟界において非難の的となつてをり、キューバ新聞も大要次のごとく述べてゐる。

「一封度二・六五仙といふ價格は砂糖の生産費のみで二・二五仙乃至二・五〇仙に上る實狀からすれば全く不當な價格といはねばならぬ。勿論右の數字は生産費のみで投下資本の利子其の他の諸支拂額を一切含んでゐない。その上米國はキューバ産砂糖の輸入割當を引下げてをり、キューバは今や一九三五年の五百十八萬九千噸に比し僅々二百七十萬噸程度にその砂糖生産を削減せねばならなくなつたかかる事態に鑑み一部砂糖工場ではその生産を一九二五年の三百二十五封度入り袋一百万袋から三十八萬袋に大削減したといはれる。而して砂糖生産の減少は砂糖の輸出がキューバの輸出總額の八割一分を占めてゐたことからキューバ經濟界に與へる影響は實に重大なものがある。」

昭和十八年八月

【對米砂糖輸出】リスボン二十三日ハヴァナ來電、米國は目下キューバ糖輸入促進に躍起となつてゐるが、明年の對米輸出高は約四百萬噸と見積られてゐる。

昭和十八年九月

【國防礦物を指定】ブエノスアイレス二十九日ハヴァナ來電によればキューバ大統領バティスタは今回銅、マンガン、クロム等を緊急國防礦物に指定、右礦山労働者は政府の同意を得ない限り悉く作業を中止すべからざる旨發令したといはれる。

ドミニカ

昭和十八年二月

【キューバ新大統領】ブエノスアイレス三日ハヴァナ來電、キューバ上院は三日新大統領プリングエル・イラレドを選出した。新大統領は民主黨員で従來も政府支持派であつた。

【キューバ糖蜜買付交渉再開】ブエノスアイレス十六日ニューヨーク來電、業

【米ドミニカに派兵】ブエノスアイレス一日ワシントン來電、米國政府は近くカリブ海のドミニカ共和國に特別海軍部隊を派遣し「米國沿岸防備の必要」を口實として同國の沿岸防備を掌握することとなつた。

昭和十八年十二月

【貿易類】ブエノスアイレス十八日ロッドミニカ統計局發表、一九四二年の同國外國貿易左の通り。(單位、アメリカ・ドル)

輸出總額	二〇、〇五七、〇〇〇
内	
アメリカ	五、七一八、〇〇〇
イギリス	八、七七四、〇〇〇
輸入總額	一一、四八一、〇〇〇
内	
アメリカ	八、三九七、〇〇〇
イギリス	七八三、〇〇〇

エクアドール

昭和十七年十二月

【原油供給を中止】ブエノスアイレス十日エクアドール國營石油會社は従來アングロ・エクアドル石油會社との契約により年二十萬噸の原油を同社に供給してゐたが、今回右契約を解除し國內で精

製することになつた旨十日發表した。

昭和十八年二月

【米將ガラパゴスを視察】ブエノスアイレス十八日キートン來電エクアドル領ガラパゴス島はかねて米國政府がパナマ防衛の前衛基地として重視し、昨秋エクアドル政府と交渉の結果、同島に軍事基地の建設を開始したがカリブ地帯米軍司令官ジョージ・プレット中將は近くパナマよりキートンに飛來しエクアドル大統領アロヨ・デル・リオと共に同島を視察することとなつた旨十八日發表された。

【自由黨員檢舉】ブエノスアイレス二十一日キートン來電に依ればエクアドル政府は最近多數の自由黨員を反政府陰謀の應で逮捕したといはれる。一九四二年エクアドル、ペルー間に締結された國境畫定條約に關し政府の施策を攻撃した自由黨員に依つて政府轉覆の陰謀が惹起されたことがあり今回の逮捕も政争に起因するものと見られる。逮捕された政治家の中には自由黨の大物と目されるホセ・ブ

ラバ、テオドル・サレム兩氏なども交つてゐる。

【皮革類對米輸出禁止】ブエノスアイレス二十九日ワシントン來電によれば、米商務省は二十九日、エクアドル國が皮革類の對米輸出を禁止した旨發表したといはれる。

昭和十八年三月

【ボリヴィア新政府を承認】ブエノスアイレス二十三日ボリヴィア新政府に對しては米洲各國政府が合衆國政府の鼻息を伺ひ承認を躊躇してゐるが、二十三日に至りエクアドル政府は率先新政府を承認した。アルゼンチン政府は依然事態の推移を靜觀してゐるが米國政府が、ボリヴィア國內今回の政變とアルゼンチンの六月革命との間に何等かの政治的關聯を附會し難辯をつけようとしてゐるので、アルゼンチン政府としてはあくまで慎重な態度に出るものと解される。

昭和十八年四月

【農相更迭】 ブエノスアイレス五日、キ
トー來電、大統領アロヨ・デル・リオは
五日前農相クレスポ・オールドネツツの後
任としてカルロス・ロコを任命した。更
迭の原因は經濟情勢の不安に基くと解さ
れる。

イレズ二十九日ワシントン來電によれ
ば米商務省は二十九日エタアドル國が皮
革類の對米輸出を禁止した旨發表したと
いはれる。

「ナール紙所報によれば、グアテマラの
中米農地會社は過設アメリカの官營會社
國防補給會社に對して、一千七百萬エー
カーのキナ樹栽培地を讓渡した。この農
園はアメリカが必要とするキニーネの殆
んど四分の一を産出する能力がある。

昭和十八年八月

【南米産米穀買占め】 リスボン五日、ワ
シントン來電、商務省の發表によれば、
エタアドルの一九四三年度米穀生産高は
一億八千三百萬封度乃至二億三百萬封度
と見積られ、前年の一億五千八百萬封度
に比し著しい増産だといはれる。一方戰
時食糧生産配給管理局は南米諸國との間
にこれら諸國産米穀の收買方につき折衝
を續けてゐる。これは軍需、武器貸與援
助、外國への食糧援助等に用ひられる管
で、アメリカはこれら各國の輸出可能米
穀を總て買入れる事を約してゐるらしく
その價格も今後の増産を刺戟するに足る
相當の高位を保證してゐる。

【大統領三選】 ブエノスアイレス二十日
ワシントン來電、グアテマラ共和國で
は大統領改選の國民投票を行つた結果、
現大統領ホルヘ・ウビコ將軍が三選され
た。

昭和十八年九月

【米國キナ農園獲得】 ブエノスアイレス
十一日、近着のウォールストリート・ジ
ャーナール紙によれば、グアテマラ共和國
の大統領ホルヘ・ウビコ將軍が三選され
た。

昭和十八年十月

【ハイチ大統領訪米】 ブエノスアイレス
五日、ワシントン來電、米國國務省は五
日ハイチ共和國大統領エリ・レスコット
がルーズヴェルトの招待に應じ、来る十
四日ワシントンを訪問する旨發表した。

ホンジュラス

昭和十八年十一月

【大統領暗殺計畫】 ブエノスアイレス二
十四日、テグシガルバ來電によれば、ホ
ンジュラス大統領カリアスに對する暗殺
の陰謀が二十四日發覺、犯人數名は逮捕
されたといはれる。

【英系石油會社整理】 ストックホルム十
五日、ロンドン來電、メキシコにおける
イギリス系石油會社チャバス社は今回會
社資産の整理を行ふやう政府より要請さ
れたが、これが決定をみれば先づその拂
込資金のうち約一割を拂戻すことにな
らうといはれる。なほ一株當りの拂戻額
は若しメキシコ政府が何等の申込みをな
さざる限りその十八シル額面株に對し一
シル八ペンスの割で行はれる筈である。

昭和十八年十二月

【徵兵法案可決】 リスボン十四日、アメ
リカ系情報によればホンジュラス共和國
議會は十四日強制徵兵法案を可決したと
傳へられる。

【物價騰貴のため賃金引上げ要求】 リス
ボン二十五日、メキシコシチー來電、メ
キシコにおける物價は昂騰の一途をたど
り労働者二萬人はこれがため賃金増額を
要求して示威運動を開始したといはれる
因に同國の物價の趨勢をみると最近の
一般生計費指數は昨年同期に比し二割方
の昂騰をしめしてゐるが、食料品のごと
きは六割、衣服類は七割五分、家賃は十
割方の奔騰に當ると傳へられる。

メキシコ

昭和十七年十二月

【米墨軍事會議】 リスボン十日、サンフ
ランシスコ來電、アメリカおよびメキシ
コ兩國の軍事代表は九日メキシコ西岸某
地において軍事會議を開催、太平洋沿岸
防備に關し協議を遂げた。

【在米義勇隊編成】 リスボン十五日、メ
キシコシチー來電によればメキシコ政府
は在米領事館に對し、アメリカ在留のメ
キシコ人による義勇隊の編成とこれが反

昭和十八年一月

【邦人を抑留】 ブエノスアイレス十二日
メキシコ市來電、メキシコ内相アレマ
ンは十二日チウアウア市在住邦人全部の
強制抑留を命じた。但し邦人醫師三名だ

けは除外されたといはれる。
【英系石油會社整理】 ストックホルム十
五日、ロンドン來電、メキシコにおける
イギリス系石油會社チャバス社は今回會
社資産の整理を行ふやう政府より要請さ
れたが、これが決定をみれば先づその拂
込資金のうち約一割を拂戻すことにな
らうといはれる。なほ一株當りの拂戻額
は若しメキシコ政府が何等の申込みをな
さざる限りその十八シル額面株に對し一
シル八ペンスの割で行はれる筈である。
因に同會社は一九〇五年ロンドンに本
店を設立し、メキシコ政府より石油事業
遂行に關聯して約二百五十萬エーカーの
老大な土地を租借してゐたものである。
【英系鐵道整理】 リスボン十七日、ロ
ンドン來電、ファイナンシャル・ニューズ紙
のメキシコ・シチー特電によればイギリ
ス政府はメキシコ國內におけるイギリス
人所有の鐵道賣却につきメキシコ政府と
交渉を開始したと傳へられる。
【墨國労働者の米國出稼意欲と米資本家
の對墨投資傾向】 グアテマラ二十九

日

一、メキシコ労働者はアメリカの労働の
高いためアメリカへの出稼を欲してゐ
るが、他面アメリカ資本家の對墨投資
が強化される傾向がある。
アメリカ農業労働者監視員會長ダウネ
イは上院において、多數のメキシコ人
労働者がキャリホルニアへ移住したこ
とに關して、これはメキシコがアメリ
カの希望に協力するものであるとして
感謝の意を表したが、メキシコ人移住
者数は未だ僅かに一萬二千五百名に過
ぎない。尙キャリホルニア州選出の一
代議士は至急メキシコ農業労働者五萬
名の移住を實行しなければならぬと
發表した。メキシコの労働省はアメリ
カが多數の労働者を必要とすることは
餘り新聞に書き立てないやうに抑制し
てゐるけれども、労働者の大群はアメ
リカの労働高とメキシコ労働組合の擧
取的行爲を逃避するため労働省に押寄
せて渡米の許可方を申請し、もし政府
がこの上渡航を弾壓するやうなれば勞

働者は罷業をも起さうとする形勢があ
る。
二、最近アメリカ資本が盛にメキシコに
流入する傾向がある。小口預金をしや
うとする者や、また新たに商業を起す
名目を以て資本をメキシコに持つて來
やうとする者等が頻りに來訪してゐ
る。多額の資本をメキシコ銀行に持つ
て來た一アメリカ資本家は、アメリカ
において金は頗る高く國家のために
只働きをするだけだ、と言つてゐた。
右に關してエクセルシオールは、アメ
リカの商人はアメリカ外に投資しやう
とし、先づ手近で利潤を多額に擧げ得
べき見込のあるメキシコに目を着けた
ものであつて、投資條件が他の米州諸
國よりも便宜なためであると論じてゐ
る。アメリカが懸念に戰爭してゐる時
に資本家のこのやうな賣國的行動を誰
一人批難する者がないのは不思議であ
る。

昭和十八年二月

【鐵道會社の經營困難】リスボン一日
メキシコ・シチー來電、メキシコ政府の
鐵道關係當局はこのほどメキシコ各鐵道
會社の經營が危局に立到つてゐる旨を發
表した。これによると鐵道會社の缺損は
月額三十萬ペソ以上に上り、鐵道の修理
も政府の補助金をもつて行つてゐるやう
な有様であるといはれる。
【労働者の渡米を制限】リスボン一日
メキシコよりの情報によれば從來よりア
メリカは労働力不足のためメキシコ労働
者の導入に努めてゐるが、最近特にメキ
シコ農業労働者のアメリカに移住するも
のが増加し問題となつてゐる。アメリカ
側では労働條件のよいのを餌に大々的宣
傳を行ふため多くのメキシコ農業労働者
がこれにつられて労働を拒否するものま
でが出て來た。メキシコ政府もこれに對
して黙視してはをれずアメリカへの移住
制限を行はんとする様子が見られる。
【南米諸國に使節派遣】ブエノスアイレ
ス八日メキシコ市來電、メキシコ政府
はラテン・アメリカ諸國政府との友好關

係促進のため近く四使節をパナマ、ペル
ー、チリ、アルゼンチン、ヴェネズエ
ラの各國に派遣することとなつた。

昭和十八年二月

【對米生牛の輸出】リスボン八日メキ
シコ・シチー來電、メキシコ經濟相フラ
ンシスコ・サビエル。ガシオラは今回八
歳未滿の牛の對米輸出を禁止する旨發表
した。

右措置はメキシコ・ドル下落の結果過
去數年にわたり多數の牛がアメリカに輸
出され、メキシコ自體における肉の需給
を脅かすにいたつたため、これが對策と
してとられたものであると。

【トロツキー暗殺犯人】ブエノスアイレ
ス十日メキシコ來電、メキシコ検事局
は十日レオン・トロツキーの暗殺犯人に
對し禁錮二十年を求刑した。

【米國の軍糧豆類買付】リスボン十五日
メキシコシチー來電によればアメリカ
政府は今回北阿派遣のアメリカ軍隊用と
してメキシコ産豆類百五十萬袋（價格約

二千萬ペソ）を購入し輸送することとな
つたと。

【米墨兩大統領會見】ブエノスアイレス
二十日ルーズヴェルト大統領は四月十
三日ワシントンを出發、ヴァージニア州
ノースカロライナ州、サウス・ジョージ
ア州アラバマ州並にアーカンソー州の空
軍基地その他の軍事施設視察の途に上つ
たが更に旅程を續けてメキシコ國內に入
り、二十日メキシコ北部のモンテレーに
到着した。國務次官ウエルズを始め軍事
秘書ワトソン少將、秘書アーリー等が大
統領に隨行したが、メキシコ大統領カマ
チョは外相バリディア、内相アレマン、
農相ゴメス等を従へて同地に赴き親しく
會談を遂げた。

【メキシコ市激震】ブエノスアイレス二
十三日メキシコ市來電に依れば二十三
日早朝メキシコ市は大地震に襲はれ夥し
い被害を受けたといはれる。

昭和十八年三月

【壯丁徵集實施】ブエノスアイレス一日

メキシコシチー來電によればメキシコ
政府は一日適齡男子一萬名の徵集を行つ
た旨發表した。メキシコが徵兵を實施し
たのはこれが最初である。

【物資統制を強化】ブエノスアイレス三
日メキシコシチー來電、メキシコ政府
は三日大統領令をもつて食糧その他重要
物資の買買、輸出入に關し廣汎な權限を
有する統制機關の設置を發表した。
大統領カマチョは同時に經濟相ガヒオ
ラに對し必要な場合これら重要物資に新
最高價格を設定するやう命じたが、一方
メキシコから食糧を輸出せんとする場合
は今後一切、經濟相の許可を要すること
とならう。

【コスタリカ大統領訪墨】ブエノスアイ
レス五日メキシコ市來電によればコス
タリカ共和國大統領ラファエル・カルデ
ロン・ガルシア博士は五日空路メキシコ
市を訪問飛行場においてカマチョ墨大統
領の出迎を受けた。

【生肉の輸出許可制】ブエノスアイレス
十日メキシコシチー來電によればメキ

シコ政府は同國の食肉不足の現状にかんがみ十日生肉の輸出に許可制を布き嚴重な統制を實施することになつたといはれる。

【石油施設改善費】 ブエノスアイレス十五日メキシコシチー來電によれば、メキシコ政府は十五日同國石油産業施設の改善費として一千萬ドルの支出を承認した旨發表した。右經費は主として送油管ならびに精油所の増設に當てられる筈である。

昭和十八年四月

【赤色西人收容同意】 リスボン七日アルジェー放送に依ればメキシコ政府は七日北阿及び西亞に於けるスペイン人全避難民の同國內收容に同意したといはれる。右スペイン人は傀儡政權から釋放された政治犯人で大半は赤色スペイン人である。

【物資不足激化】 ブエノスアイレス十五日メキシコ・シチー來電、メキシコは最近に至つて物資不足が漸く目立ち野

菜、バター、米、鹽等の不足著しく就中肉類の如きは殆んど貧乏人の手には入り兼ねる有様となつた。物資缺乏の主要原因は運輸機關の不足による。

【トロッキー暗殺犯人に懲役二十年】 ブエノスアイレス十七日メキシコ市來電メキシコ市地方裁判所は十六日トロッキー暗殺犯人ジャク・モリーナードに對し懲役二十年の判決を宣告した。

【米墨兩大統領會見】 ブエノスアイレス二十日ルーズヴェルト大統領は四月十三日ワシントンを出發、ヴァージニア州ノースカロライナ州、サウス・ジョージア州、アラバマ州並にアーカンソー州の空軍基地その他の軍事施設視察の途に上つたが、更に旅程を續けてメキシコ國內に入り、二十日メキシコ北部のモンテレーに到着した。國務次官ウエルズ、軍事秘書ワトソン少將、秘書アーリー等が大統領に隨行したが、メキシコ大統領カマチョは外相バリディア、内相アレマン、農相ゴメス等を從へて同地に赴き親しく會談を遂げた。

【中央銀行金貨發行か】 ストックホルム二十五日當地に達した情報によればアメリカ大統領ルーズヴェルトは最近のメキシコ訪問に際し、メキシコ大統領カマチョとの會見後アメリカがメキシコ國內に有する油田の對墨移管問題ならびにアメリカ農村下の労働力不足緩和の對策としてメキシコよりの農業勞力の移入問題につき兩者の間に圓滿妥結を見た旨發表したといはれる。一方メキシコ中央銀行ではこの程銀ペソ貨と引換へに金貨を一般に發行するに決定したと傳へられるが、ロンドン來電によればイギリス財界では、右はルーズヴェルトのメキシコ訪問と關係あり、明らかにルーズヴェルトの金貨再流通工作の第一歩だと稱してゐる。ルーズヴェルトの右工作が奏效するとしても實際に果して幾何の金が流通を許されるかが問題であり、この點に關しイギリス財界では慎重な態度をとり成行を頗る注視してゐるといはれる。また右メキシコ中央銀行の金貨發行決定は最近アメリカの銀需要が昂つてゐる事實に鑑

みアメリカが出来る限り多量の銀を獲得しようとする工作の現はれとも見られ、金の放出が單に銀貨との引換のみに限定されてゐるのもこのためだと觀測してゐる向もある。

昭和十八年五月

【メキシコ大使米國論難】 ブエノスアイレス十五日去る四月十四日の「米洲日」に際しキューバ駐劄メキシコ大使ホセ・ルノベン・ロメロは暗に米國の帝國主義を非難して次の通り述べたといはれる。

「巨大なアメリカ合衆國は徐々に他の大陸の諸國家をもその制壓下に收めつつある。中南米諸國は今次戦争において何ら決定的な役割を演じてゐる譯でもなく、また何のために戦つてゐるのかさへ知らない有様である。而も種々の制限を受けない自由までも制限されてゐる現状である。今や中南米諸國は内治外交並に經濟の各分野において自由性を確保しなければならぬ。そのためには今後外國のためにのみ活動してゐる或種の經濟團體の活動

を默認しなければならぬ。」

【食糧品に公定價格】 ブエノスアイレス十六日メキシコ市來電、大統領マヌエル・アヴィラ・カマチョは開戦後生活費が百パーセントを増加し労働者階級の間に重大な不滿を醸し出してゐる情勢に鑑み各種食糧品の公定價格を設定した。右は車輛の大部分が北米向け物資輸送に使用され食糧品の輸送が杜絶え缺乏を來した結果であるといはれる。

【メキシコ灣岸石油市況】 リスボン二十三日ニューオーリンズ來電、メキシコ灣岸地方精油業者の報告によれば同地方における需要は各種石油とも旺盛で供給が不足してゐる。オクタン價八十一のエチールガソリンには若干約定が出來たが、實際の積出は輸送機關の調達如何にかかつてゐる尙ほ相場は一般に變らず。

昭和十八年六月

【經濟情勢惡化】 リスボン一日メキシコシチー來電、米國は南米諸國に對し重

からのこれら諸國への物資供給は杜絶状態にあるが、メキシコの經濟情勢もこれがため益々惡化の一途を辿つてをり、殊に食糧問題は極めて憂慮すべき状態にある。これは同國鐵道が對米輸出戰時重要原料の輸送で食糧輸送に重大障害を與へてゐるからである。こんな關係から生計費は約二倍の騰貴を示してゐるが、賃金及び俸給の方は依然据置となつてゐる。政府はこれが對策として戰時經濟委員會の設置および食糧品最高價格設定等の措置を講じてゐる。

【汎米労働者會議】 ブエノスアイレス十日メキシコ來電、ラテン・アメリカ労働會議議長ロンバルド・トレダーノは同會議大會が来る二十五日より三十日迄ハヴァナにおいて開催される旨十日發表した。参加者は米國、カナダその他米洲労働團體の代表で、主要議題は次の通りである。

アルゼンチンの新情勢、參戰各國における經營危機、第五部隊問題、戦争に對する米洲各國労働者の新協力方式。

【空軍増強を圖る】ブエノスアイレス十日メキシコ市來電、政府は空軍の増強のため来る九月よりグラハラ陸軍飛行學校の募集人員を従來の百五十名から四百名に増加する旨十日發表した。

【米州諸國公使館を一齊に昇格】リスボン十一日メキシコ市來電、外相エセキエル・パディアは、「米州諸國駐割のメキシコ公使館は今回凡て大使館に昇格した」旨十一日發表した。

【ソ聯大使信任状を捧呈】ブエノスアイレス二十四日メキシコ市來電、メキシコ駐割ソヴェト大使コンスタンチン・ウーマンスキー氏は二十三日メキシコ大統領アヴィラ・カマチョに對し信任状を捧呈した。

昭和十八年七月

【傀儡政権と外交關係】ブエノスアイレス二日メキシコ市來電、政府はフランス解放委員會との間に公式外交關係を樹立した旨二日發表した。

【二百萬ベソ公債】ブエノスアイレス四

日メキシコシチー來電によればメキシコ政府は今回期限十五ヶ年六分利付公債二百萬ベソを發行する豫定といはれるがその目的はメキシコ外債の買取り乃至は償還資金募集のためである。

昭和十八年八月

【熔鑪爐新設】リスボン十四日メキシコ市來電、メキシコ政府は最近熔鑪爐三十九を同國モンテレーに新設、既に運轉を開始したと云はれる。右に關し米國系通信はメキシコの對米鐵鋼輸出高はこの結果年約六萬トンに増加すると稱してゐる。

【外國會社の石油法抗告】ストックホルム三日ロイター通信の報道によれば、メキシコ最高法院は最近外國石油會社のメキシコ石油法に對する抗告を認めざる旨發表したが、これは外國系各石油會社代表がメキシコ政府の地下資源收用地を否認する聲明を發したのに刺戟されてなされたものといはれる。

【亞國產玉蜀黍輸入】リスボン四日メキシコ市來電、メキシコ政府は最近熔鑪爐三十九を同國モンテレーに新設、既に運轉を開始したと云はれる。右に關し米國系通信はメキシコの對米鐵鋼輸出高はこの結果年約六萬トンに増加すると稱してゐる。

【外人土地所有禁止】ブエノスアイレス六日メキシコ市來電、メキシコ大統領アヴィラ・カマチョは外國人の土地取得を禁止する法令に署名したといはれる。

【外人の土地所得禁止】リスボン十日メキシコ市來電、メキシコ政府は今回命令をもつてメキシコにおける外國人の土地取得を禁止したが、右は油田を繞る外國石油會社との繋争に關聯せるものとみられる。

輸出	輸入
一九四一年 一四一	一五九
一九四二年 一七九	一四一
一九四三年 七三	五九

(二一四月)

すなはち輸入價額は最近著しい減少を示してゐるが、數量の減少はさらに激甚である。この開きはアメリカよりの輸出制限に伴ひ數量が激減したにも拘らずメキシコにおける輸入價格は相當の騰貴をみてゐるからである。

昭和十八年九月

【一萬名を米軍に編入】ブエノスアイレス二日メキシコ市來電、メキシコ大統領アヴィラ・カマチョは一日議會においてメキシコ人一萬一千二百十五名が現在アメリカ軍に編入されてゐる旨發表した

【食糧物價統制令】ブエノスアイレス二十三日メキシコシチー來電、戰爭の影響を受けて、メキシコ國內の物價騰貴は益々甚しく特に食糧の騰貴が顯著である。大統領カマチョは二十三日新法令を發布し食糧物價の公定を發表し、更に食糧品の運搬及び食糧品に關する投機行為に對し嚴罰を課することを規定した。

【潜水艦對策】ブエノスアイレス五日メキシコ市來電、最近メキシコ灣に對するドイツ潜水艦の脅威が再び増大してゐる實情に鑑み、メキシコ防衛潜水艦對策委員會は數ヶ條から成る軍事的防衛措置を決定した。但し右防衛策の内容は公表されない。

昭和十八年十月

【外債償還】リスボン二十六日メキシコシチー來電、昨今中南米諸國では國內金融狀態の改善に伴ひ、對外債務整理の傾向がみられるが、メキシコ政府も昨年未國際銀行團を通じ發行した同國債を償還することとなり、債權者五分の一の賛成を得てこの程開始された。償還支拂は一ベソ一弗の割合で行はれるが、右償還により同國對外債は七割五分減少する筈である。なほメキシコ政府は目下對外

【米、墨債務交渉か】ブエノスアイレス八日メキシコ市來電によれば、米、墨兩國は石油利權賠償支拂協定成立に引續き、鐵道債務を中心とするメキシコの對米債務支拂交渉を進めることとなつたといはれる。右交渉はメキシコ政府並に金融代表とアメリカ政府代表との間に近くワシントンにおいて開始される筈である。

【死刑を復活】ブエノスアイレス十日メキシコ政府は十年前死刑を廢止したが過去數ヶ月間國內の物資配給狀態が悪化

し政治不安が激化したのに伴ひ國內にギヤングが跳梁し出したため今回死刑を復活したと傳へられる。

【探油權を外人に與へず】ブエノスアイレス二十日メキシコ・シテイー來電、メキシコ經濟省次官フランシスコ・ハクシオラは二十日、メキシコにおける石油發掘權を外國人に對し今後一切與へないことに決定したと言明した。

昭和十八年十一月

【英系鐵道國有化】ブエノスアイレス三日メキシコ・シチー來電によれば、メキシコ政府は同國內にある英資本の鐵道國有化を企圖し、今回これが交渉のためメキシコ中央銀行理事を團長とする多數の専門家をイギリスに派遣したといはれる。

【經濟協力委員會】ブエノスアイレス八日メキシコシテイ來電、米墨兩國政府は曩に兩國産業委員會を組織したが、今回更にこれを改組擴充し八日右に關しメキシコ外務省は次の如く發表した。

「最近設置された米墨産業委員會は今回米墨經濟協力委員會と改稱された。委員の機能は擴大されメキシコの工業化に關するあらゆる經濟的問題を検討する管である。」

【労働者の米國移住禁止】ブエノスアイレス九日メキシコ市來電、ミホカム、ハリスコ、グアナファトのメキシコの食糧狀勢を危険に陥れるとの理由で今後これを嚴禁する旨八日發表した。

【五月の貿易高】ブエノスアイレス十七日メキシコ政府發表、本年五月中の輸出入狀況次の通り。(單位千ペソ)

輸出合計	一一六、五四四
内アメリカ	一〇五、四四六
ガテマラ	二、七八〇
キューバ	二、五二一
コスタリカ	一、一四五
△輸入合計	八二、〇八四
内アメリカ	七四、七一八
アルゼンチン	二、二一八
カナダ	一、二二五

【新聞用紙制限】ブエノスアイレス三十

日メキシコ市來電、メキシコ政府は最近の用紙拂底に鑑み戰爭終了迄、新聞、雜誌の新規發行並びに現在許可されてゐる新聞でも特輯版の發行は禁止することになつた旨三十日發表した。一方各種新聞の用紙制當も十五乃至二十五%削減されることになつた。

昭和十八年十二月

【海外派遣説を否定】ブエノスアイレス九日メキシコ・シテイ來電、カマチヨ大統領の弟たる交通相マキシミノ・カマチヨは八日、メキシコ軍が海外に派遣されたといふ報道はデマに過ぎないと説明更に同人が来る大統領選挙に出馬するといふ説もデマであると述べた。

【明年度豫算】ブエノスアイレス二十二日メキシコ市來電、メキシコ政府發表の同國明年度歳出推定額は十一億ペソうち臨時支出費七億ペソ、公共事業費及び公債費二億ペソで、歳入見積額は十億ペソ、差引赤字一億ペソとなつてゐる。

【駐重慶大使任命】ブエノスアイレス二

のゴム採取成績は頗る不良と傳へられる。

昭和十八年十月

【米國に運河用領土を提供】ブエノスアイレス五日メキシコ市來電、大統領アンスタシオ・ソモサは五日議會において上院副議長ケネース・マツケラーのニカラガ運河建設案に關する質問に對し次の通り答辯した。

「將來米國がニカラガ運河の建設に着手する場合政府は進んで米國に領土を提供する用意がある。同運河は商業上の利用價值を有するのみならず、將來軍事的防衛施設としても頗る重要な意義を持つであらう。」

パナマ

昭和十八年一月

【米、パナマ新取極め】ブエノスアイレス十八日メキシコ市來電、パナマ共和國政

昭和十八年二月

【アメリカに基地提供】ブエノスアイレス二十六日メキシコ市來電、過般來中米諸國に壓迫を加へて軍事基地獲得に狂奔してゐるが、マナグワ來電によればアメリカはニカラガの數ヶ所に軍事基地を建設する計畫を進め、その手始めに太平洋岸のコリント港を選んだといはれる。また他の情報によればアメリカの哨戒艇隊が既に同港を基地としてパナマ運河附近水域を哨戒してゐるとも傳へられる。

昭和十八年六月

【外相辭職】ブエノスアイレス二十日メキシコ市來電、アルゲロ・ヴニカラグワ外相マクアノ・アルゲロ・ヴニカラグワは二十日辭職した。

【對米ゴム供給狀況】ブエノスアイレス三十日メキシコ市來電によれば過去十八ヶ月間にニカラグワより米國に輸出された生ゴムは合計千三百三十三トンであるといはれる。米國はニカラグワにおけるゴム採取をしきりに督促してゐるが、同國

ニカラグア

但し組合側では政府の解決方式が満足出来ないものであれば一月の第一週に再び罷業を開始する旨言明してゐる。

府は十八日、同國駐屯米國軍當局との間に締結された取極めを發表したが、これによれば米駐屯軍は戰爭中パナマ國內において軍事的に必要と思はれるあらゆる物件を占領、使用し得ることとなつてゐる。而して右取極めは戰時の緊急措置との理由をもつて米軍が占領、乃至使用する物件の所有主に對しては何等賠償する必要なしとの規定も附されてゐる不法なものだが、開戦以來パナマ運河防衛を口實にアメリカから次々と主權を侵害された、パナマは今度は遂に私有財産制の維持さへも否定されるに至つた。

昭和十八年二月

【運河防衛に狂奔】 ブエノスアイレス二十日ニ十八日附ロイター通信パナマ電によれば、米國パナマ防衛軍はパナマ運河地帯の防衛に大がかりな煙幕設備を完成したといはれる。即ち空襲警報が鳴り響くや警戒の兵士は松明を持つて煙幕發生器に點火すると、瞬時にして運河地帯の重要地點は悉く濃密な煙幕に包まれると

いふのである。

【横斷道路完成】 ブエノスアイレス二十七日ニパナマ來電、アメリカ當局がパナマ運河地帯を横斷する軍用道路は最近完成、來る四月一日その開通式が行はれることとなつた。この軍用道路は全長五十マイルで、アメリカ、メキシコ國境以南では太平、大西の兩洋を結ぶ道路の完成はこれが最初である。

昭和十八年四月

【米、領土使用を要求】 ブエノスアイレス三十日ニパナマ來電によればアメリカ政府はパナマ領内の防衛を強化するため一萬五千エーカーに及ぶパナマ領地の「一時的な使用」を承認することを、パナマ政府に要求してゐると傳へられ、パナマ議會は右協定を審議するため五月三日から十二日迄特別議會を開催するといはれる。

昭和十八年五月

【領土を割譲か】 ストックホルム十二日

ニスカンチナヴィスカ通信に依れば、パナマ議會は軍事施設構築のためパナマ領土の五分の一をアメリカ政府に讓渡する協定を可決したといはれる。
【パナマに反政府運動】 ブエノスアイレス三十日ニバルボア來電、パナマの警察當局は反政府陰謀の嫌疑で政治犯多數を逮捕した。檢擧された者の中には前副大統領を始め警察官吏數名も含まれてゐる。

昭和十八年十二月

【政府對米抗議】 ブエノスアイレス二十日ニパナマ來電、パナマ駐劄米國大使に對して兩國駐屯の米國兵の行爲に關し嚴重なる抗議を行つた。開戦以來米國はパナマ運河防衛を口實に運河地帯外のパナマ領内にも續々米兵を送りこんだが、これ等米國兵の不遜なる態度は最近目に餘るものあり、各種の暴行沙汰頻發し、パナマ大統領が公用車で通行中米國兵に停止され、車内を搜索された事件まで發生した。パナマ外相はその對米抗議におい

て今後米國兵の行爲が改善されぬ場合はパナマとしても何等かの措置をとらなければならぬだらうと警告してゐるといはれる。

パラグアイ

昭和十七年十二月

【樞軸國資金】 ブエノスアイレス七日ニアスンシオン來電、パラグアイ政府は對樞軸斷交の實狀にかんがみ七日日獨伊三國ならびに三國占領地域との間の資金移動を禁止する法令を發した。これにより樞軸國との一般商取引はもちろん樞軸國の凍結資金を基礎とする商業活動も禁止され、三國向け商品に對する輸出許可證の發給は中止された。

昭和十八年二月

【棉花公價引上げ】 リスボン七日ニアスンシオン來電によればパラグアイ政府は今回棉花公定價格を引上げ、第一級品は

一割増の一キロ當り二十ペソとする旨發表した。

【モリニゴ大統領再選】 ブエノスアイレス十六日ニアスンシオン來電、パラグアイ大統領選挙ならびに同國憲法の一部改正に關する人民投票は十五日舉行されたが、次期大統領にはイヒニオ・モリニゴ現大統領が壓倒的多數で再選された。

【經濟難激化す】 リスボン十八日ニサンチャゴ來電、チリーの對樞軸國交斷絶後アメリカの對チリー工作はいよいよ露骨化してゐるが、アメリカはチリー商社一千餘に對する從來のブラック・リスト制の改訂には依然反對態度をとつてをり、これがためチリー政府は失業者の増加を危惧してゐるといはれる。

一方物資に對する思惑買ひが活潑化し物價は鋭昇りに昂騰し闇取引の横行に政府設定の最高價格制も有名無實となつてゐる。さらにアメリカの對チリー石油供給契約も船腹不足のため履行出來ず、首都サンチャゴの打撃は特に甚しくバス、電車の多くは運轉停止の状態であると傳

へられる。

昭和十八年三月

【大統領訪米】 ブエノスアイレス三十一日ニアスンシオン來電、パラグアイ大統領イヒニオ・モリニゴ將軍は三十日再度大統領に就任したが、ルーズヴェルトの招待に依り來る六月初旬米國を訪問、更に歸途ブラジルその他を歴訪する旨發表された。

昭和十八年四月

【大統領伯國訪問】 ブエノスアイレス二十九日ニアスンシオン來電、パラグアイ大統領モリニゴは二十八日外相、内相、ブラジル大使を帶同してブラジル訪問の途に就いた、同大統領はリオデジャネイロにおいてブラジル政府との間に經濟協定締結交渉を行つた後、ワシントンを訪問する豫定である。

昭和十八年五月

【五ヶ年計劃】 ブエノスアイレス二十五

日・アスンシオン來電、パラグアイ大統領モリニゴは二十四日夜ラジオ放送を行ひパラグアイの五ヶ年建設計畫を發表した。モリニゴはその演説で五ヶ年計畫はパラグアイ全國民に繁榮を招來することを目標とするものであり、全國民は政府に協力して直ちに建設工作を開始するやう要請した。

昭和十八年六月

【米・パ南通商協定】リスボン十五日ワシントン來電によれば、パラグアイ大統領は近くアメリカを訪問する旨傳へられてゐるが、目的はアメリカ向物資供給に關するものといはれ、パラグアイは食糧品を初め一般農産物並に木材をアメリカへ輸出する様要請されてゐるといはれる。

【通貨單位を改正】リスボン十七日ワシントン來電、パラグアイ政府はこの經通貨の面よりインフレ抑制政策として、同國通貨の大改訂を實施、新通貨グアラニを制定したが、これは百セント

ゾオに等しく、舊ペソ貨及び舊セントグアラニと比較するに次の通り。

一 グアラニ 一〇〇ペソ
新セントグアラニ 一ペソ

昭和十八年七月

【新正貨】ブエノスアイレス十日ワシントン來電、パラグアイ政府は来る十二月四日から現行の通貨百ペソに相當するグアラニと稱する新通貨を發行する旨十日發表した。舊紙幣の所持人は一九四六年一月一日迄に新貨幣に引替へなければならぬ。

昭和十八年八月

【新内閣成立】ブエノスアイレスワシントン來電、新任パラグワイ大統領イヒニオ・モリニゴ將軍は十五日就任宣誓を了し國內の統一、米洲聯帶主義の強化に邁進するとの方針を闡明した。同時に新内閣の顔觸れを左の如く發表した。
△法相兼内相アマノイオ・パンブリーガ
△外相ルイス・アルカーネ△藏相シ

グフリド・ブラウン△陸相ヴィンチエンテ・マフーカ將軍△農相ホアン・ブラーテ博士△商工相フェリックス・モラーレス△土木相ラモン・マルチーノ大尉△保健相シモラルド・ブオン・ペルイニ

【バ、ボ兩國會談】ブエノスアイレス十九日ワシントン來電、パラグワイ政府は十九日左の如く發表した。
「ボリヴィア大統領エンリケ・ペニャランダは近くチャコにおいて開催されるパラグワイ、ウルグワイ兩國政府の會談に出席チャコ地方を通じて兩國貿易の促進、兩國間の道路建設ボリヴィア石油輸送のためチャコ地方經由パラグワイ河沿岸港に至る油送管の設置等に付き協議する。」

昭和十八年十二月

【大統領亞國訪問】ブエノスアイレス十二日ワシントン來電、パラグワイ大統領モリニゴは十一日ブエノスアイレスに到着、アルゼンチン大統領ラミレス將軍その他關係の出席をうけた。

ベルギー

昭和十七年十二月

【九月中の輸出額】ブエノスアイレス二十三日ワシントン來電、九月中のベルギー輸出額は左のごとくである。(單位千ソール)
九月中 四二、八八七
八月中 三七、三八三
一―九月累計 三七一、一五六

なほ右輸出先はアメリカが第一位で、チリがこれに次いでゐる。

昭和十八年一月

【航空省及び農業省を新設】ブエノスアイレス六日ワシントン來電によればベルギー政府は今回内閣に航空ならびに農業の兩省を新設した。しかしプラド大統領は空相にメルガー將軍を任命、また農相に財政家ローカを六日それぞれ任命した。

【米國タイヤー工場移駐】リスボン十三日ワシントン來電によればベルギーにおいて近

く新タイヤー工場が操業を開始するといはれる。右新工場の設備はアメリカのゴム増産計畫にもとづき總てアメリカから輸入したもので、要するにアメリカ工場の移駐のごときのものである。ゴム資源の喪失によりアメリカにおけるゴム産業部門には遊資増大し、ゴム増産計畫にもとづきアメリカ政府は續々南米諸國に對しかかる工場讓渡を行つてゐるが、右に關聯しベルギー財界では次のごとく皮肉つてゐる。

『アメリカはベルギーにも新經濟勢力團を獲得し、ベルギーは自國の物資々材および人的資源をアメリカの支配下に置くことを許された。』

【フランス政府と斷交】ブエノスアイレス二十六日ワシントン來電によればベルギー政府はヴィシー政府との外交關係を斷絶し、一月二十六日發表したと傳へられる。

昭和十八年二月

【米、棉の買付完了】ストックホルム十二日ワシントン來電、アメリカ政府は

ベルギー棉花買付けのためベルギー首都リマに買付事務所を開設してゐたが右は今回閉鎖された。アメリカ政府はすでに總額二萬六千億のベルギー棉花を買取つたが、この結果ベルギー棉花は全部吸収され、事務所はために閉鎖するに決したものであると。

【國勢調査の結果】ブエノスアイレス十五日ワシントン來電、最近の國勢調査の結果ベルギー國の總人口は七百二萬三千人であることが判明した。そのうち五十三パーセントは白人及びメステイソ族(白人と土人の混血)四十五・五パーセントは土人、残り一・一パーセントは東洋人及び黒人となつてゐる、又總人口の五〇・五パーセントは女子である。

昭和十八年三月

【棉買上價格行悩む】ストックホルム十四日ワシントン來電、傳へられるところによるとアメリカの本年度ベルギー棉買上げ價格については未だに兩國政府間に何等の取極めも成立するにいたつてゐな

い。これは買入價格を植付反別削減と脱み合せて決定することになつてゐるにもかゝらず本年度におけるペルー棉植付反別の推定が困難であるからである。

【キニーネ増産】リスボン十八日アマリカはキニーネ不足對策として南米各地の規那皮増産をはかりつつあるが特にペルーにおけるチンコナ増産の努力に主力が傾けられてゐる。從來打ちすてられてあつて野生チンコナの開發についてはアメリカから専門家が乗り込み監督を行ふとともに、新しい栽培園の建設も進められてゐる。

ペルーにおいてはすでに規那皮處理の工場も設立された。必要な機械はアメリカから輸入されてアメリカ人の手で組立てられ操業を開始してゐるが、これは今後南米に建設を豫定されてゐる規那皮處理工場の最初のものである。

一方キニーネをアメリカに對して積出すべく道路の建設も進んでをり、ペルーの北、中、南部各地方で海港への三本の重要な道路が建設され、近く開通される。

昭和十八年五月

【輸出許可制實施】ブエノスアイレス五日リマ報道によるとペルー大藏省はこのほど一切の輸出を許可制のもとに置く旨發表したといはれる。この措置は船腹

【輸出許可制實施】ブエノスアイレス五日リマ報道によるとペルー大藏省はこのほど一切の輸出を許可制のもとに置く旨發表したといはれる。この措置は船腹

ペルー大藏省はこのほど一切の輸出を許可制のもとに置く旨發表したといはれる。右措置は船腹不足の折柄手持船腹の利用改善を目標とするものとみられるが但し重油の輸出には適用されない筈である。

昭和十八年七月

【外債を借換か】チューリッヒ二十一日リマ來電ペルー政府は最近一年償還六分利内國債を二分利債に借換へてゐるがリマ財界では、近く同様の措置が外債に對しても採られるだらうと期待してゐる。なほペルー財政状態をみると、輸入困難等の事情による外國爲替がだぶつき外債借換を保證するやうにみられるが、果してこれにより外國債権者が利益を得るか否かは頗る疑問とみられ、なほペルーは一九三一年以來外債償還を中止し、極く稀なる場合のみ例外的に償還を行つてゐる。尤も利拂は一九三八年來七分半利債に對し四分の利拂を行ひ、また一九三六年以來償還期限二十年八分利債に對し六分の利拂を行つてゐる。なほ六分利

内國債償還は一九三八年以來中止されてゐる。【アルペカ對米輸出】リスボン二十九日リマ來電によればペルー政府は今回アルペカ毛の對米輸出年額制當を從來の一千三百噸より三千噸に引上げたといはれる。右數量は同國の輸出可能餘剩量の全部を含むものといはれる。尙同國政府は同時に一般羊毛の對米輸出量も一千噸より一千四百噸に増加した。

昭和十八年八月

【南米對英國貿易】ストックホルム十三日ロンドン來電、最近南米諸國と英帝領との貿易が増加してゐるといはれるが昨年度はペルーのインド品輸入も昨年中に著るしく増加し、一方英帝領のペルー品輸入は英本國政府のペルー棉大量買付以外に、ニュージランドは二千萬ソール輸入し、また前年度皆無であつた濠洲が二千萬ソールも輸入してゐる。又本年第一・四半期に於けるペルーのインド品輸入は二百二十七萬三千ソールであるが

【樞軸財産を沒收】ブエノスアイレス二十七日リマ來電、政府は来る六月一日より施行される大藏省令をもつて同國在住樞軸國人のあらゆる商業的活動を封鎖することとなつた。同國政府は既に昨年一月リオデジャネイロに開催された汎米外相會議の勸告決議に基き樞軸國の商人及び法人の全資金を凍結してゐるが、今回の新法令を以て更に樞軸國個人及び法人の全財産を沒收することとなつたもので沒收財産に對しては一應補償金を支拂つ

前年同期は僅か三十三萬五千ソールに過ぎなかつた。ブラジルの英帝領向輸出殊に南阿向綿製品は著るしく増加してゐるが、昨年の南阿向輸出累計は三百三十萬ポンド（輸出總額の三十パーセント）で一九三九年の二十五萬ポンドに比し十倍以上の激増にあたる。本年第一・四半期輸出は引續き増加、南阿向はブラジル輸出總額の九・五パーセントを占め、事實上英本國向よりも多い。因に南阿はブラジルより綿製品以外にコーヒー、米、及びガラス製品も輸入してゐる。

【アルパカ及羊毛の對米輸出】 リスボン二十九日リマ來電によれば、ペルー政府は今回アルパカ毛の對米輸出年額割當を從來の一千三百噸より三千噸に引上げたといはれる。右數量は同國の輸出可能餘剩量の全部を含むものといはれる。尙同國政府は同時に一般羊毛の對米輸出量を一十噸より一千四百噸に増加した。

昭和十八年十月

【意外な好況に惠る】 ブエノスアイレス

十四日ブラッド大統領が九月二十八日議會で行つた演説によれば、ペルー國の財政經濟の一般情勢は今次の世界大戰による深刻な變調にも拘はらず例外的に好調である。即ち財政部門では、現行豫算は四億ソール以上に達し、ペルーとしては未曾有の數字を示してをり、一般税金及び關稅收入は増加率が大であり、又金準備は支拂剩餘額を含め一九四三年六月三十日現在では一億三千六百萬ソールに達し、これがためペルー貨の安定は堅實に保障されてゐる。そして右金準備の實際價值は二億千四百萬ソールであつて、中央銀行の紙幣、預金その他債務の四七％をカバーしてゐる。又爲替市場に於てはペルー貨は現在米貨一弗につき買相場六・四八五、賣相場六・三〇、英貨一磅につき買ひ二六・〇五、賣り二六・一六である。ペルー政府は目下舊外債の全面的且つ最終的整理について考究中であるが、その一部は新規起債を要しないで整理されるらしく、他方三年前華府輸出銀行に設定された二千五百萬弗のクレジットは未

だ何等利用されてをらない。又既存の年利率六分以上の各種債券合計四千七百六十五萬九千ソールは、一九四三年八月二十一日迄に年利率六分、償還率二％の單一債券に切替へられた。經濟部門では政府は生産増強のため貸付利子の引下及びパンコ・デル・エスタードの制度を全面的に改革し、貸付條件を緩和することにあり、遊休資本の活用を容易ならしめようと努め、又農産食料品増産獎勵のため棉作地を從來の二割に縮少し、かつリマ縣に於ける農耕面積の四割は生活必需植物を義務的に植付けさせると同時に、生産者の利潤を確保するため、縣農業クレジットの利率を改正する外、最低價格の設定及び生産物の政府買上を約束した。工業開發に關しては最近コーポレーション・ベルアーナ・デル・サンタを設立し、主としてサンタ河盆地における石炭、鐵の採掘を行ひ、又北米ゴム貯藏會社との協定に基き、一九四二年コーポレーション・ベルアーナ・デル・アマゾナスを設立し、アマゾン地帯における護謨栽培の増

強に努めてゐる。

昭和十八年十二月

【貿易統計】 ブエノスアイレス五日リマ來電、本年八月、九月中のペルー輸出高左の通り。（單位千金ソール）

九月	八月
輸出 四〇、三八八	三五、三二五
輸入 四〇、八〇九	三六、四〇七

【十月の貿易】 ブエノスアイレス二十六日リベルー稅關發表によれば、十月中の對外貿易高は左の通りである。

輸出	三元、三九〇、〇〇〇金ソール
輸入	四、〇三三、〇〇〇

ウルグアイ

昭和十七年十二月

【米より石油、石炭】 ブエノスアイレス十五日船泊不足から南米諸國の物資不

足は著しく激化してゐるが、モンテヴィデオ來電によれば最近アメリカよりウルグアイに石油二萬四千トンが供給され、すでに到着したといはれる。この石油は同國の精油所で精製される筈である。なほその他二千六百トンに上る石炭が發電用としてアメリカよりウルグアイに到着したと報ぜられる。

【ガソリン飢饉】 ブエノスアイレス十七日モンテヴィデオ來電、石油その他の燃料資源を主としてアメリカからの補給に仰いでゐるウルグアイではアメリカ政府の極端な輸出制限の結果甚しい燃料不足に當面しつつあり、既に自家用自動車は全然街頭から姿を消したが十六日モンテヴィデオ市内のタクシー運轉手もガソリン割當の不當な削減を理由として一齊罷業に入つたため市民は完全に足をとられてゐる有様で、重大な社會不安を現出せんとしてゐる。

現在では僅かに四割前後となり、それさへも輸送の停滯で満足には入手出來ない。しかも今後はさらに一層アメリカ當局の供給割當が減少する見込みである。

【米國より新借款】 リスボン十九日モンテヴィデオ來電、ウルグアイ外相のワシントン訪問に關聯しアメリカはウルグアイに對し新規に一千萬ドルの借款を供與せんとしてゐると傳へられてゐる。ウルグアイ經濟界ではアメリカ側の借款供與動機は石油にあり、中南米諸國中ウルグアイのみが一九四一年の國內石油消費の四割をアメリカ向けに積出し得る情勢にあるためとしてゐる。しかしながらウルグアイは目下物資不足に悩んでをり、單にアメリカよりの借款のみでは問題を解決し得ず、この結果ウルグアイ外相はワシントンにおいてアメリカ商品輸入確保に關し交渉を進めるものとみられてゐる。

【宣戰の意志なしと聲明】 ブエノスアイ

レス十九日リリオデジャネイロ來電、ブラジル訪問中のウルグアイ外相アルベルト・グアニは二日に互る滞在を了へ十九日早朝リオデジャネイロ發空路ワシントンに向つた、出發に先立ち同外相は新聞記者團と會見して對樞軸問題並にソヴェト政府に對するウルグアイの態度を闡明次の如く語つた。

「ウルグアイ政府は對樞軸宣戰布告を行ふやうな意志はない。従つて所謂大西洋憲章に参加するが如きことは考へられない。ワシントンではリトヴィノフ駐米ソ聯大使と會ふことになつてゐるがウルグアイの對ソヴェト國交復活を協議するやうな政府命令は受けてゐない。」

【米より兵器到着】ブエノスアイレス八日モンテヴィデオ來電、ウルグアイ政府は曩に同國軍事使節がワシントンを訪問して武器貸與法に基き米國政府より購入した兵器並に軍需資材の一部が最近モンテヴィデオに到着した旨二十八日發表した。その中には大口徑長距離砲數門が含まれてゐる。

【ソ聯と復交】ブエノスアイレス二十九日ワシントン來電、ウルグアイ外相アルベルト・グアニとソヴェト大使リトヴィノフ氏との協議の結果ソ・ウ兩國の國交は二十九日回復した。

【肉工業に罷業】ブエノスアイレス二十九日モンテビデオ來電によれば同地における冷凍肉製造工業に最近罷業が勃發し約一萬五千人の労働者が既にこれに参加してをり、多數の關係工場は完全に操業停止の状態に陥つたと言はれる。

【外相の訪米と經濟情勢】ブエノスアイレス二十五日客年十一月二十九日の選舉で共和國副大統領に當選したウルグアイ國外務大臣グワニはアメリカ國務省の招聘に應じてワシントン往訪の途次、一月十七日カスチーリヨと會見し、更にリオデジャネイロにおいてはヴァルガス、アラニャ及びカフレイ等と會談の上、一月十九日同地を出發、カナダ、メキシコをも訪問の筈であるが、新聞記者との會見談から推察するに、今回の彼の訪米主要目的は

- 一、アメリカの斡旋によりソ聯との外交關係を再開すること
- 二、カラスコ飛行場作業の遂行、その他公共土木事業に充當するため貸與法による一億ウルグアイ・ペソの借款交渉
- 三、リオ・ネグロ發電所向け發電機械その他原料品並に製造品の對ウルグアイ輸出の確保と石油の割當増加を圖ること
- 四、ウルグアイ産羊毛、羊皮革の對米供給を圖る等

現在迄における北米のウルグアイ國に對する援助としては四月、七月、九月の三回に互る武器の送付と、一九四一年度分の四割に相當する石油の供給とに過ぎない模様なので、輸入税の大減収に基く同國の深刻な經濟恐慌を緩和するには至らない。又原料品と工業用燃料が不足のため失業者十萬人を出した外、ガソリン不足のためタクシーの罷業が起り、家用車の運轉も亦減少した。生産物の輸出が不能となり、就中一九四一―四二年の

羊毛收穫の殘餘二千萬疋は米ウ通商取極が十一月で満期となつたにも拘はらず未だ積出不能の儘となつて居る。本年は大旱魃のため畜類の被害が甚大なためウルグアイ國政府は右被害畜類をアルゼンチン及びブラジルの牧場へ一時的移動方を交渉中である。

【ソ聯と外交關係復活】チネーリツヒニ十七日蘇聯政府は今般外交關係回復及外交代表交換に關するウルグアイ政府の提議を受諾し一月二十七日、ウルグアイ國外相グアニ及び在米蘇大使リトヴィノフ間に右に關する公文の交換を了した旨發表した。

昭和十八年二月

【外相歸任】ブエノスアイレス十日ウルグアイ外相アルベルト・グアニは米國訪問を了してウルグアイに歸還の途次十日ワシントンから空路ブエノスアイレスに到着した。

【全土に大旱魃】ブエノスアイレス十三日モンテヴィデオ來電によればウルグ

ワイ全土を見舞つた大旱魃のため國內家畜の斃死は夥しい數に上り、全國家畜數の三十パーセント約二百七十萬頭が渴と飢饉のため斃れ家畜飼育業者の損害は四千百萬ベセタに達したといはれる。

【船舶増配の餘力なし】リスボン二十五日モンテヴィデオ來電、アメリカ商業會議所會頭ジョンストンはこの程南米諸國の經濟觀察旅行の途次ウルグアイ首都モンテヴィデオを訪問したが彼は南米航路のアメリカ船舶を増加することは現在不可能であると述べた。

ジョンストンはアメリカの南米向け物資供給促進案を携行してゐると傳へられてゐただけに右聲明はウルグアイ經濟界に非常な失望を與へてゐる。

昭和十八年三月

【新大統領就任】ブエノスアイレス一日モンテヴィデオ來電、昨年十一月の大統領選舉においてコロラド黨から立候補して當選したウルグアイ新大統領アマサガは一日正式に大統領に就任した。新大

統領の任期は一九四七年三月までである。

なほ新内閣は一日成立したが、その顔觸は次の通りである。

- 外相 ホセ・セラト
- 内相 エクトル・ヘロナ
- 産業労働相 ハヴィエル・メンディヴィツ
- 文相 アドルフォ・フォアニコ
- 衛生相 ルイス・マテアウダ
- 公共事業相 トマス・ベレッタ
- 國防相 アルフレッド・カムボス
- 藏相 リカルド・コシオ
- 農相 アートロ・ゴンサレス・ヴィダルト

新内閣の全閣僚はいづれも民主主義的色彩濃厚な人物ばかりで、新外相セラトは今次大戦開始以來反樞軸委員會委員長の職にあり、消息筋の觀測によれば今後新政府の外交方針はブラジル政府との間に事實上現存する軍事同盟強化の方向に向ふと解されてゐる。

【軍事基地設定の野望】ブエノスアイレ

ス二日モンテヴィデオ來電、米國南大西洋方面司令官イングラム海軍中將は一日ウルグアイ新大統領就任式に参列したがウルグアイ政府首脳アルゼンチン海軍のゴンサロ・プスタマンテ少將及びアルゼンチン駐在大使ノーマン・アーマー等と連日に互り會談を遂げた。イングラムは會談の結果に基き左の如く放言した。樞軸軍が米大陸の東岸に戦争を擴大した場合反樞軸軍はウルグアイ國內の各軍事基地に依存する所が大きいであろう。我々の計畫は敵に對し凡ゆる點から壓迫を加へるにあり、ラプラタ河口は最悪の事態が到來した場合重要な作戦基地とならう。

【官廳使用人に軍教】ブエノスアイレス十六日モンテヴィデオ來電、ウルグアイ政府は十六日一切の官廳使用人に對し軍事訓練を強制する旨の布告を發した右は強制軍事訓練計畫の一部をなすものである。

【燃料不足激化】ブエノスアイレス十八日米國政府は中南米諸國の對米協力の

代償として各種植物油の供給を約してゐるが船舶不足その他の原因で事實上米國よりの物資輸送は杜絶状態にあり十八日モンテヴィデオ來電によればウルグアイ國內の物資缺乏、就中ガソリン不足は最近益々悪化したため同國內に交通、輸送機關は重大障礙を受けてゐる。その結果國民の不滿は最近數回に互り暴動に近い抗議となつて爆發し、これがため米國大使館はやむなくモンテヴィデオ港内に貯藏された米海軍艦艇用のガソリンを一時開放して一般の使用に供することになつたといはれる。

【亞國産石油を要望】ブエノスアイレス二十七日モンテヴィデオ來電、ウルグアイの石油不足は最近特に著しく政府は過般アメリカに對して至急石油の供給方を要請したが、アメリカ自體の油槽船不足も手傳つて未だにその輸入實現せず、石油航運は今や放置すべからざる事態にまで立至つた。

事態の深刻化に狼狽したウルグアイ政府は危機切掛け策としてブエノスアイレ

スのアメリカ大使館を通じアルゼンチン政府に對して石油の一時借用方を申入れた。この要請に對してはアメリカ政府も保障を與へ、將來アメリカがアルゼンチンに對して石油を返済する條件を出してゐるが、アルゼンチンが如何なる回答を與へるか注目されてゐる。

昭和十八年四月

【外相更迭】ブエノスアイレス二十七日モンテヴィデオ來電ウルグアイ外相アルベルト・グアニは三月一日より副大統領に轉じ、後任外相には現内相エクトール・ヘロナが就任する旨二十七日發表された。

昭和十八年五月

【佛と國交斷絶】ブエノスアイレス十

日モンテヴィデオ來電、ウルグアイ政府は十二日、フランス駐劄同國代理公使ルイス・ドブイの本國歸還と共にフランス政府との國交を斷絶する旨發表した。【貿易減退から財政危機】ブエノスアイレス二十四日モンテヴィデオ來電に依れば、ウルグアイの對外貿易は減退の一途を辿り、關稅收入は事實上喪失し、同國政府の財政はために重大なる危局に直面してゐるといはれる。かくて同國政府は再び一千八百萬ペソの新公債を募集するの餘儀なきに至つたが、新公債應募運の暫定的措置として大藏省證券を發行する意向とみられてゐる。

昭和十八年六月

【新内相就任】ブエノスアイレス二十四日モンテヴィデオ來電、政府はさきに辭任した内相ヘクトル・ゲローナの後任としてフアン・ホセ・ヴィクトリアを任命した。

【米資本を要望】モンテヴィデオ來電ウルグアイ政府は同國における現在の英

國の投資のみでは不充分なため、最近では米弗資金に關心を示す者も現はれたといはれる。目下訪米中のウルグアイ銀行委員會委員長は『米國資本をウルグアイに導入して各種産業及び外國貿易を促進する事が望ましい、これによつて羊毛、皮革製品、植物油及び罐詰類の生産は増加し、またウルグアイへの旅行者が増せばそれだけ投資の機會も多くなる』と語つたことはこの傾向を反映するものとして注目される。

昭和十八年七月

【米國羊毛買付中止】リスボン二十七日モンテヴィデオ來電によれば米國政府はこの程ウルグアイよりの羊毛買付協定を廢棄したと傳へられる。尙右に基き取引整理のためウルグアイ側輸出商は九十日の猶豫を與へられ、右期間中の羊毛の對米輸出價格は從來の水準に据置かれるはずである。因に現在ウルグアイの羊毛輸出餘力は八千俵（四百萬キログラム）に上つてゐる。

【ソ聯と國交回復】ブエノスアイレス二十八日モンテヴィデオ來電、ウルグアイ外相ホセ・セラトは大統領アマサガ以下全閣僚がソ聯政府との外交關係復活に關する法令に署名を了した旨二十八日發表した。因みにウルグアイ、ソ聯兩國間の外交關係は一九三五年十一月以來斷絶してゐた。

昭和十八年八月

【モスクワに外交使臣】ブエノスアイレス二十九日モンテヴィデオ來電、ウルグアイ政府は今回モスクワに大使を派遣するに決定し既に社會黨首領エミリオ・フルゴリーニ氏に交渉を開始した。

昭和十八年十月

【ウルグアイ國內に徴兵制】ブエノスアイレス二日モンテヴィデオ來電、ウルグアイ政府は三十日の開議において國內に徴兵制を布くに決定した。

昭和十八年十一月

【蔵相決定す】 ブエノスアイレス四日
モンテヴィデオ來電、ウルグアイ政府は三日「過般死去したペドロ・コシオに代りアルヴァレス・シナが蔵相に任命された」旨發表した。

【徴兵制實施】 ブエノスアイレス五日
モンテヴィデオ來電、ウルグアイ政府は今回、同國內に徴兵制を實施することとなり、徴兵法案を議會へ提出した。

昭和十八年十二月

【公共事業計畫】 ブエノスアイレス五日
ウルグアイ政府は一九四四年度においてかなり大規模の公共事業計畫を行ふ豫定だが、その資金中四千萬ペソを過般のアメリカよりのクレヂット中より、殘餘を内國債により調達することとなつてゐる。計畫内容をみると道路建設千九百三十萬ペソ、治水五百三十萬ペソ、鐵道建設四百二十萬ペソ、軍事基地建設三百五十萬ペソが計上される。

ヴェネズエラ

昭和十八年二月

【貿易杜絶】 リスボン九日
南米よりの情報によれば今次ヨーロッパ大戦はヴェネズエラの經濟界に非常な影響を與へつゝある。殊に昨年はカリブ海においてドイツ潜水艦の活動により船舶航行が甚しく脅威されたため特にアルバ、キエーラソの精油工場がもつとも甚大な打撃を蒙つた。

ヴェネズエラは主として石油、ココア、コーヒーを輸出し、穀物、砂糖、馬鈴薯油脂を輸入してゐたのであるが、戦争以來諸國との物資交易は中絶の状態に陥り一方かかる食料品は國內では生産されず非常な物資不足を來してゐる。

昭和十八年四月

【クラサオ島に米基地】 ブエノスアイレス八日
カラカス來電に依れば米政府は

新に蘭領西インド諸島中のクラサオ島に軍用基地を建設中と傳へられる。要塞建設を擔當した米國商社は建設工事促進のため現在ベネズエラ各地で労働者の大募集を行つてゐると云はれる。

昭和十八年五月

【新内閣成立】 ブエノスアイレス十日
カラカス來電、内閣は去る六日經濟相メンドーサの辭任を契機として總辭職したが十日に至り新内閣が成立した。その顔觸れ左の通り

- 經濟相 グスタヴォ・エラレール
 - 内相 ペンシニ・エルナンデス
 - 蔵相 アルツロー・ウスラール・ピエトル
 - 文相 ラファエル・ヴェガ
- 他の關係は凡て留任。

昭和十八年六月

【亞國と物資交流】 リスボン十二日
ヴェネズエラは他の南米諸國同様アメリカよりの物資供給杜絶に對處して南米諸國

との貿易増進に努めてゐるが、同國首都カラカスよりの來電によれば、ヴェネズエラ政府は特に亞國との物資交流殊に同國産穀類、小麦粉、ミルク製品及び罐詰肉類の輸入に關心を示してゐる模様である。右物資以外でも機械、設備等の固定物其他諸原料品に對する需要も増加の一途を辿り、他方亞國としてもヴェネズエラ産石炭に最も注目してゐる。戦前兩國間の通商關係は、どちらかと云へばヴェネズエラ主要輸出品たるコーヒー及びココアの亞國向輸出が低廉なブラジル産に壓倒されて以來中絶同然の有様であつた。しかし今次大戦勃發後回復を示し、一九四一年亞國より諸物資價格四百五十萬亞國ペソが輸出されたが、昨年は約一千二百五十萬ペソと三倍に増加した。

昭和十八年七月

【大統領中南米歴訪】 ブエノスアイレス十七日
カラカス來電、ヴェネズエラ大統領メディーナ・アンガリータは十七日空路コロンビアへ向け出發した。大統領

はコロンビア訪問の上更にエクアドル、ペルー、ボリビア、パナマ等の中南米諸國を歴訪する豫定で同大統領の旅行中、外相カラチオロ・パラベレイが大統領代理として政務を掌ることになつてゐる。

【洪水で家畜喪失】 ブエノスアイレス三十日
カラカス來電によれば最近ヴェネズエラには豪雨が降りこのためオリノコ河が氾濫し家畜一萬五千頭を失つたといはれるが、この結果同國では肉類不足が生じるのではないかと危懼されてゐる。

【西系鐵道接收】 リスボン十六日
カラカス來電、ヴェネズエラ政府はこの程スペイン系ヴェネズエラ鐵道會社を接收した旨發表した。

同鐵道はマドリッドに本店を有するスペイン系といはれるが、元々ドイツ資本によつて建設されたものであつた。同鐵道は經費七千九百萬ボリヴィアドルを投じ延長百七十キロのものである。なほ外國系鐵道としてはまだヴェネズエラにはイギリス系のカラカス・ラダ・イラ間の私鐵が残つてゐる。

【内閣更迭】 ブエノスアイレス十九日
カラカス來電、ヴェネズエラ内閣は十七日總辭職し、十八日夜新内閣が成立した。主要新閣僚左の通り

- △内相 ホセ・ニフメデス・イーヴァス
- △外相 パラ・ベレス博士(留任)
- △陸相兼海相 マヌエル・モラン

【ヴ、ド兩國の國交再開】 ブエノスアイレス二十二日
ヴェネズエラ共和國政府は二十一日ドミニカ共和國との外交關係を再開したと發表したといはれる。

【石油生産狀況】 ブエノスアイレス二十日
スタンダード・オイル・カムパニー・ニュージャーシー社長ギヤラファは最近南米を訪問この程歸着したが、ヴェネズエラの石油生産狀況につき次の如く語つた。

ヴェネズエラの石油生産高は現在一日五十八萬五千バレル程度にまでなる可能性がある。機械の不足が増産を阻んでゐる現状だが、一方油槽船の調達はかなり樂になつてきた。

昭和二十年一月十六日 印刷
昭和二十年一月二十日 發行

〔非賣品〕

昭和十八年度ラテンアメリカ新聞情報集

發行者 東京都麹町區霞關 外務省內
ラテンアメリカ中央會
海 本 徹 雄

印刷者 東京都豊島區西巢鴨二ノ二七一二
山 下 謙 之 助

發行所 東京都麹町區霞關 外務省內
ラテンアメリカ中央會

印刷所 東京都豊島區西巢鴨二ノ二七一二
合資會社 光 文 社

(東京五六三番)

501
197

出版案内



ラテンアメリカ叢書 (A列・5版) —本會發行—

1. コロンビアの石油業(戸田三夫著)..... 107頁
2. ラテンアメリカ礦物資源(織田和勝著)..... 168頁
3. ラテンアメリカ社會發達史(モイセス・トロンコソ著、加藤利祐譯)..... 90頁
4. ラテンアメリカの農業制度(モイセス・トロンコソ著、加藤利祐譯)..... 82頁
5. 南米 ABC 三國の動植物資源(織田和勝著)..... 139頁
6. 米國の抗戦力とラテンアメリカの資源(織田和勝著).....(絶版)..... 62頁
7. 米國のカリビアン政策(海本徹雄著).....(絶版)..... 148頁
8. 戦争と玫瑰の糖業(大倉敏之著)..... 49頁
9. ラテンアメリカ經濟の米國依存性(本會調査部編)..... 86頁
10. ラテンアメリカ精神文化史(ジョン・マッケー著、間宮直香譯)..... 191頁
11. 米洲連帯性の經濟的側面(海本徹雄著)..... 89頁
12. 米洲諸共和國々籍法の解説(本會調査部編)..... 120頁
13. 雜婚と民族の純化問題(サンバイオ・フェラス著、秋山桃水譯)..... 150頁
14. 中南米の動植物資源=除 A、B、C 三國(織田和勝著)..... 119頁
15. ラテンアメリカ統計集..... 近刊

(叢書入手御希望の向は本會宛御照會を乞ふ)

本會關係圖書

- 南米市場と旅商(本會發行=非賣品)..... 294頁
ブラジルに於ける日本人發展史(全二冊)(本會内同書刊行委員會、非賣品)1060頁
ニカラグア運河史(柴田實著=移民問題研究會發行=價 0.50)..... 119頁
ラテンアメリカ總攬(本會編纂=日本外政協會發行=價 22.00)..... 950頁
米國のカリビアン政策(海本徹雄著=日本外政協會發行= 1.50)..... 148頁
米國人口政策の基礎(本會譯)..... 未刊
パナマ運河の國際的地位(海本徹雄著)..... 未刊

推薦圖書 (ラテンアメリカ研究資料)

- 海本徹雄著「新汎米主義と米洲國際法」—日本外政協會發行(587頁・價 6.40)
入江寅次著「邦人海外發展史」—井田書店(1081頁・價 7.40)
野田良治著「ラテンアメリカの全貌」—遠藤書店(313頁・價 2.60)

東京都麹町區霞ヶ關外務省政務局内

ラテンアメリカ中央會

終

